

新「高梁市」始動。

10月1日、午前8時20分
高梁市役所本庁で開庁式。
高梁、有漢、成羽、川上、
備中の各地域局などでは開
局式が行われました。



本庁前でテープカット



有漢地域局



高梁地域局

新「高梁市」の 発足にあたって

高梁市長職務執行者

立木 大夫

平成16年10月1日、高梁市、有漢町、成羽町、川上町、備中町の合併により大きな夢と期待を担った新「高梁市」が誕生いたしました。

新しい市長が決定するまでの間、定めによりまして、市長職務執行者として選任されましたので、その任にあたらせていただくこととなりました。

振り返りますと、地方の時代といわれる21世紀を迎え、少子高齢化社会、情報の急速な高度化、深刻な環境問題、さらには市民の生活意識や価値観も多様化するなかで、行財政の一体化による効率的な運営によって自立した自治体を目指すべく最重要課題として市町合併に取り組んで参りました。

合併は、合併そのものが目的ではなく今日の社会経済の中で、お互いの地域がより一層の発展と住民福祉の向上の手段として、夢と希望のもてる新しい自治体を創りあげていくことです。こうした共通認識のもと、平成13年9月の合併問題研究会設立以来3年間、協

議を積み重ねて参りました。そして、本年3月の合併調印・各議会による廃置分合の議決から6か月、知事への合併申請・総務大臣の告示を経て、合併の日を迎えることができました。

この新「高梁市」は、行財政基盤の強化はもちろんのこと、地域の特性を生かし、ゆとりと安らぎを持ち、市民が快適に暮らしていくものでなければなりません。そのため市民と行政がよきパートナーとして21世紀の新しい時代の地域づくりが進められていきます。

それぞれの地域は、歴史的経緯や風土をもとに豊かな伝統・文化に育まれ、まちづくりにも熱心に取り組んでこられました。また、共通する価値観と多くの交流や人的つながりを持っており、

こういったお互いの特色を大事にしながらか高梁市となったメリットを生かして、将来にわたって継続していける行財政の確立を図り、都市像である「文化を育み健やかで活力のあるまち」を目標に、市民参加・協働のまちづくりを進め、市民の幸せと市勢の振興を目指していかねばなりません。

新市の限らない発展と市民皆様のご健勝とご多幸を心からお祈りし、「挨拶」とさせていただきます。



成羽地域局



川上地域局



備中地域局



教育委員会事務局（成羽町）



徳田匡彦さん(30)と妻のボロディナ・エフゲーニヤ(24)さん(ウクライナ出身)松原通

新高梁市の発足と同時に2人の新生活をスタートさせようと、10月1日午前零時ちょうどに婚姻届を提出しました。高梁は生活する環境としてGOODです。これからも快適に安心して暮らせるまちであり続けてほしいです。



由島修司さん(30)と妻の和美さん(27)落合町阿部

10月2日に挙式しました。新市の誕生と同じスタートラインに立てて光栄です。これから家族も増えることと思いますが、新高梁市が住みよいまちであってほしいと思います。

新「高梁市」とともに私たちも人生の一步を踏み出しました。